

学校関係者評価書

平成29年度 上南方小中学校 学校関係者評価書

NO1

本年度の重点目標		具体的な実践内容と評価					成果及び課題・方策			学校関係者評価		
		実践内容	4段階評価					成果	課題	方策	評価	意見
自ら学び、向上心のある児童生徒	<p>能動的な授業を目指した授業改革の推進と実践をとおして、主体的に学ぶ姿勢を育成すると共に、積極的に自分の考えや意見を分かりやすく表現できる力を身に付けさせる。</p> <p>アンケ項目</p>	<p>・ 日常の学習指導の中で、能動的で深く思考する学習の実践により、学びの楽しさに気付かせると共に、学びの主体者にさせる。</p>	対象	児童生徒	保護者	職員	平均	<p>校内研究において、児童生徒の能動的な学びを目指すと共に、力を付ける授業の在り方について、5本の研究授業を実施するなど、研究を進めてきた。「思考・発表・活動の時間が確保された授業」、「分かりやすい授業」において、職員の数値が上がっていることから、職員が意識して授業改善に取り組んでいることがうかがえる。その結果、児童生徒、保護者の数値も上がっている。</p>	<p>授業内容や家庭学習における児童生徒や保護者の評価と職員の評価には多少の隔たりがある。職員の評価(数値)から考えると、現状に満足せず、児童生徒の実態を踏まえたさらなる指導法の工夫・改善が必要であるように思われる。</p>	<p>今後も教員の授業力アップを目指して、授業研究を推進していく。児童生徒の表現力を更に向上させるためのスキル学習のレベルアップを図る。さらなる学力向上を目指すには、家庭学習の習慣化、家庭での学習に対する協力が不可欠である。家庭での見届けを工夫し、学校との協力体制づくりを考えていきたい。</p>	4	<p>・ 生徒の評価より先生の評価が低いのは、指導に対する迷いを感じているからではないか。それでも評価が上がってきているのは、成果が出てきているということだと思う。</p> <p>・ 放課後子ども教室のサポーターをしているが、ひらがな、漢字の書き順が正しくできていない児童もいる。一人一人にしっかりとした力を身に付けさせて欲しい。</p>
		アンケ項目	6月	3.2	3.0	2.6	3.1					
		2月	3.3	3.2	2.8	3.2						
	平均	3.3	3.1	2.7	3.2							
	自己評価(総合評価) 3.2											
	<p>「分かる授業」「力を付ける授業」を常に追究し、授業力のレベルアップを推進する。</p> <p>アンケ項目</p>	対象	児童生徒	保護者	職員	平均						
6月		3.3	3.1	2.5	3.1							
2月		3.4	3.3	2.8	3.3							
平均	3.4	3.2	2.7	3.2								
自己評価(総合評価) 3.2												
<p>各家庭との連携を更に深め、家庭学習の習慣化と見届けを徹底する。</p> <p>アンケ項目</p>	対象	児童生徒	保護者	職員	平均							
	6月	3.2	2.9	2.8	3.0							
	2月	3.4	3.1	2.9	3.2							
平均	3.3	3.0	2.9	3.1								
自己評価(総合評価) 3.1												
<p>発達段階に応じると共に一貫したキャリア教育の推進により将来の夢や希望を常にもち、その実践に向けて挑戦し続ける児童生徒を育成する。</p> <p>アンケ項目</p>	<p>・ 職場体験訪問等の体験学習や講師派遣事業等の様々な体験学習を通して、望ましい勤労観や職業観を育てる。</p>	対象	児童生徒	保護者	職員	平均	<p>昨年度に引き続き、地元出身者を中心とした職業講話(エンジン上南方)を実施した。また、市の「講師派遣事業」や「ふるさと教育推進事業」を通して、地元企業での体験や将来の夢につながる講話をしていただいたことにより、将来の夢を語れる児童生徒が多くなった。学校だよりや学級通信で、キャリア教育に力を入れている学校の状況を伝えることができた。</p>	<p>今回のアンケートで唯一前回の数値を下回ったのが「将来の夢や希望を持っているか」についての児童生徒の回答であった。中でも小学部6年(2.6)と中学部1年(2.9)の数値が特に低かった。将来の夢を抱く講話を聞く中で、明確な進路目標が定まっていな現実不安を抱く結果が数字になって表れたのではないかと感じる。</p>				
		アンケ項目	6月	3.6	2.8	2.7			3.1			
		2月	3.4	3.0	2.7	3.1						
	平均	3.5	2.9	2.7	3.1							
	自己評価(総合評価) 3.1											
	<p>各教科をはじめとする全ての教育活動を通して、主体的に進路選択できる実践的な態度を育てると共に、進路情報の充実に努め、保護者への情報発信や啓発に努める。</p> <p>アンケ項目</p>	対象	児童生徒	保護者	職員	平均						
6月		3.2	3.2	2.9	3.2							
2月		3.3	3.2	3.1	3.2							
平均	3.3	3.2	3.0	3.2								
自己評価(総合評価) 3.2												

本年度の重点目標		具体的な実践内容と評価					成果及び課題・方策			学校関係者評価		
		実践内容	4段階評価					成果	課題	方策	評価	意見
礼儀正しく、思いやりのある児童生徒	基本的な生活習慣の育成に努め、当たり前ができる児童生徒を育成する。	・ 全教育活動をとおして、「あいさつ」「時間」「無言」「返事」をキーワードとした集団行動や礼法指導を徹底する。 アンケート項目	対 象	児童生徒	保護者	職 員	平 均	全校集会を利用し、小学部低学年でも理解できるよう具体例を示しながらあいさつの指導を行ったり、集団行動についての説諭等を行ったりした。「いつでも、どこでも、誰にでも」あいさつができるようになってきた。保護者、職員の数値が上がっているが、朝のあいさつ運動やゴミの回収の委員会活動、また各委員会だよりの発行等、児童生徒の動きが見える児童会生徒会活動ができてきたことが評価されたのではないか。	「元気のいいあいさつ」「時間厳守」「場に応じた無言の徹底」「しっかりした返事」等、まだまだ現状に満足できない。職員の指導による変容だけではなく、児童会、生徒会を中心に自ら進んで変わろうとする取組が期待される。	小中一貫校になってはいるが、児童会と生徒会の協力体制の構築をするため、まず、各々の規約の見直しを行う。特に、生徒会規約については、生徒会執行部に原案づくりをさせ、生徒総会にかけて、生徒達の手で改正を行わせ、自治的能力・資質の向上を図る。「言われて行う」から、「自ら気付いて行える」態度の育成に重点を入れていく。	4	・ 基本的な生活習慣、思いやり等については、繰り返しの指導が必要ではないかと思う。 ・ 基本的な生活習慣は、家庭における生活習慣によって創られると思う。家庭と学校との連携で、子どもたちを守り育てて欲しい。 ・ 以前からこの地区の子どもたちは、あいさつがとても良いと思う。いつでも、どこでも子どもたちからあいさつしてくれてすがすがしい。このまま続けて欲しい。
			6 月	3.1	2.9	2.3	2.8					
			2 月	3.1	3.0	2.4	3.0					
	平 均	3.1	3.0	2.4	2.9							
	自己評価（総合評価）2.9											
	生徒会（児童会）活動の自主的、自治的運営の伸長に努める。 アンケート項目	対 象	児童生徒	保護者	職 員	平 均						
6 月		3.4	3.1	3.0	3.3							
2 月		3.4	3.3	3.5	3.4							
平 均	3.4	3.2	3.3	3.3								
自己評価（総合評価）3.3												
道徳の時間を中心とした道徳教育の充実を図り、思いやりの心や感謝の心をもった礼儀正しい児童生徒を育成する。	・ 道徳の時間の指導の充実を図るとともに、全教育活動をとおして、人間尊重の教育を推進すると共に、自己理解を深め、自尊感情を育てる。 アンケート項目	対 象	児童生徒	保護者	職 員	平 均						
		6 月	3.2	3.1	2.8	3.2						
		2 月	3.3	3.2	3.1	3.3						
	平 均	3.3	3.2	3.0	3.2							
	自己評価（総合評価）3.2											
	・ 人権教育の意図的・計画的な実施に努め、差別しない、差別させない、差別を許さないという態度の育成に努める。 アンケート項目	対 象	児童生徒	保護者	職 員	平 均						
6 月		3.2	3.0	3.3	3.1							
2 月		3.3	3.3	3.4	3.3							
平 均	3.3	3.2	3.4	3.2								
自己評価（総合評価）3.2												

